

## 平成30年度研究発表要項

平成30年度日本学校図書館学会研究発表大会における研究発表は、次の要項により実施する。

### 1 平成30年度の研究発表部門

(1) 一般研究発表・・・会員の問題意識に基づく、以下の内容等にかかわる研究

- ① 学校図書館に関する基礎理論、比較研究
- ② 学校図書館に関する歴史的研究
- ③ 学校図書館の経営研究（システム、メディアセンター）
- ④ 読書活動とその指導理論と方法
- ⑤ メディアプログラム（読書活動とその指導研究を含む）
- ⑥ 学習メディア（読書資料を含む）と利用
- ⑦ 情報活用能力（情報リテラシー）と指導（学校図書館利用指導を含む）
- ⑧ 学校図書館の人的条件に関する研究（制度・養成・資格）
- ⑨ その他、学校図書館にかかわる諸問題に関する調査研究や実践研究

(2) 課題研究発表・・・本年度の研究課題にかかわる研究

平成30年度研究課題

#### 「これからの時代に求められる資質・能力の育成と学校図書館Ⅲ －教育課程の展開と学校図書館スタッフの協働－」

##### 【課題設定の理由】

これからの時代の学校図書館では、館長である校長のリーダーシップをもとに、司書教諭、学校司書、校務分掌の学校図書館担当者、教諭等の連携・協働が求められています。学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議からは「これからの学校図書館の整備充実について（報告）」で学校司書の養成と求められる資質能力が提示されましたが、これに伴い、学校図書館にかかわるスタッフに求められる役割、資質・能力を再検討する必要が生じてきたと考えます。新しい学習指導要領が告示され、小学校では、すでに移行期間に入りました。これからの時代に求められる児童・生徒の教育に学校図書館がどう関わり、とりわけ学校図書館スタッフがどう関わっていくのか、理論・実践を通じて明らかにしていきたいと考え設定しました。

- ① 課題研究発表に先立ち、30分程度の研究課題に関する基調提案を行う。
- ② 課題研究発表は、2～3本とする。
- ③ 課題研究発表終了後、会場全体で20分程度の総括討論を行い、その後基調提案者が10分程度でまとめる。

## 2 研究発表申込等に当たっての留意事項

- (1) 研究発表申込者は、本学会の会員であること。
- (2) 研究発表申込者は、希望する発表部門を明記すること。ただし、研究委員会で発表部門を調整することもある。
- (3) 研究発表は、口頭発表とする。なお、コンピュータ等の機器を使用することができる。機器の利用は、発表申込時に申し出ること。
- (4) 研究発表は、個人研究及び共同研究（発表申込時に代表者を明記のこと）とする。
- (5) 研究発表の時間は、質疑応答（10分）を含めて25分とする。
- (6) 研究発表は、一会員1件とする。また、他学会等との同一内容での発表は認めない。
- (7) 研究発表者は、発表要旨を決められた期日までに提出する。発表要旨は本学会の【研究発表要旨集】に収録し、当日の参加者に配布する。発表要旨を提出しない場合は、発表を取り消すことがある。また、発表要旨の原稿は返却しない。
- (8) 発表要旨の体裁等は以下の通りとする。
  - ① A4判、横書きとする。  
【研究発表要旨集】は、提出された原稿をそのまま複製し、作成する。
  - ②発表要旨は一発表につき2ページとする。（表・図・写真・参考文献などを含む）
  - ③共同研究の場合、主たる発表者に○印を冠すること。
  - ④具体的な形式は、以下の通りとする。（別紙参照）
    - 余白 上下、左右各25mm
    - 文字数 44文字×40行
    - 段組み 本文のみ2段組み（1段20文字）
    - 題名及びサブタイトル、小見出しはMSゴシック、その他はMS明朝
    - 文字の大きさは、題名（14P）、サブタイトル（12P）、それ以外（10.5P）
- (9) 研究発表者は、発表当日「発表補助資料」を配布することができる。ただし、印刷等は発表者自身が行い、150部用意すること。
- (10) 申込の受理は、7月の役員会で審議により発表が許可されたことをもって、申込の受理となります。研究発表の可否は、役員会終了後メールで連絡いたします。

### 平成30年度日本学校図書館学会 研究発表大会

- ◇ 日 程：平成30年9月1日（土） 全日
  - 一般研究発表 ― 午前～午後
  - 課題研究発表 ― 午後
- ◇ 会 場：帝京科学大学7号館

